

爲樂求治者必往而不分貧賤況受幣爲邪故名重于當時遠近之士從而受業者其如堵然相稱曰檜林家流云

〔蘭學事始^上〕一桂川家の事は今の代より五世の祖甫筑先生と申せしは、文廟家○德川宣未だ藩邸におはせし時召出されし御外科なり其師家は平戸侯浦松の醫師にて嵐山甫安と申たるよしなり此甫安は其侯より出島在館の阿蘭外科に御託し置れて親しく學ばせ給ひしとなり此御家は平戸へ入津以來彼國の事は譯品有て御親しみ御自由なる事のよし又其時代は今の如くにもなかりしにや甫筑君其頃幼若にて門人となり師に附添て出島へ時々參られしが専ら嵐山の流法を傳へ給ひしとなり阿蘭陀の外科はダンネルとアルマンスといふ人ときけり桂川もとは大和の國の人にて森島氏なりしが嵐山の流を汲むといふ意にて家名を桂川と改め給ふとなり今の桂川君の御祖父甫三と申せしは翁若かりし時常に交厚かりし御人なりし故此事語り給へるを聞置き侍りぬこれを世に桂川流と稱しぬる事なり

〔明良帶錄世職〕桂川甫見

外科の家にして蘭學に達し父箕裘を繼て甫周は三國通覽之序を識し六物新志其外蘭學之書を著す蘭學の名は人口に膾炙す蘭品産物の會有り外療家の秘訣を修す六月十五日關帝の祭りに音楽を奏す手付等有り

〔千重之比登邊〕外療二家 長崎吉雄 紀州花岡瑞軒

〔蘭學事始^上〕明和四五年の間なるべし一とせ甲必丹はヤンカランス外科はバブルといふもの來りし事あり此カランスは博學の人バブルは外科巧者のよしなり大通詞吉雄幸左衛門は専ら此バブルを師としたりと幸左衛門後耕作幸作號は耕牛と云り外科に巧みなりとて其名高く西國中國筋の人長崎へ下り其門に入る者至て多し此年も蘭人に附添來れり翁玄白杉田夫等の事を傳へ聞し